No.169／2023.2.27　発行：西日本社会学会事務局

Sociological Society of West Japan

西日本社会学会ニュース

〒819-0395　福岡市西区元岡 744
九州大学文学部社会学・地域福祉社会学研究室
TEL & FAX　092-802-5287
郵便振替口座　01750-3-23994
http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~sociowest/

Ⅰ．第 81 回大会案内……1
ⅰ．参加・発表申し込みについて……1
ⅱ．歓迎の言葉……2
ⅲ．シンポジウムの概要……3
ⅳ．交通・宿泊案内……5
Ⅱ．事務局からのお知らせ……6

Ⅰ．第 81 回大会案内

西日本社会学会第 81 回大会は、下記の通り開催されます。

日時：2023 年 5 月 20 日（土）・21 日（日）
会場：熊本大学
〒860-8555　熊本市中央区黒髪 2 丁目 40 番 1 号
Tel. 096-344-2111（代表）
https://www.kumamoto-u.ac.jp/

ⅰ．参加・発表申し込みについて

本大会への参加をご希望の方は、同封の返信用ハガキにてお知らせください。懇親会の出欠についてもご記入いただきますようお願いいたします。また、不参加の方もその旨ご連絡ください。

自由報告部会での研究報告をご希望の方は、同じハガキで報告題目をそえてお申し込みください。なお、参加・報告は対面のみを予定しておりますが、感染状況によってはオンライン開催の可能性もございます。その場合は、メールや学会ウェブサイトで連絡いたします。多数のご参加をお待ちしております。

発表申し込み締め切りは、3 月 22 日（水）必着です。
締め切り厳守でお願いいたします。

ⅱ．歓迎の言葉

牧野厚史（熊本大学）

このたび、熊本大学文学部を会場として、第 81 回西日本社会学会大会を開催させていただくことになりました。会員の皆様を心から歓迎いたします。私は、2011 年に熊本大学に赴任して以来、学会員の皆様にはお世話になりっぱなしで、少し心苦しい気持ちでおりました。今回の学会大会では、開催校として、会員の皆様のお役に少しでもたてるかと思うと、たいへん晴れやかな気持ちになります。

熊本大学文学部のキャンパスは、熊本市中央区の黒髪町にあります。今では住宅の建ち並ぶ市街地ですが、明治 22（1889）年、熊本大学の前身の第五高等中学校の校舎が竣工した当時は、旧城下町郊外の田園地帯でした。明治 30 年頃、第五高等学校で教鞭をとっていた夏目漱石も、そのキャンパスについて、「いかめしき門を這入れば蕎麦の花」とか、「粟みのる畠を貸して敷地なり」といった、面白い俳句を作っています。

熊本大学は、文学部を含め、7 学部 8 大学院 1 研究科からなる総合大学です。1949 年に第五高等学校・医科大学・工業専門学校・師範学校・青年師範学校・薬学専門学校が再編・統合されて、新制大学としての歩みが始まりました。ただ、文学部の沿革は、戦前の第五高等学校との連続性ぬきには語れません。大学の発足にあたり、旧制高等学校を引き継ぐかたちで、哲学、史学、文学からなる、法文学部文科が創設されました。その後、1979 年の改組により、法学部と文学部がそれぞれ独立し現在に至っています。

本学の社会学教育が始まったのは、法文学部だった時代の 1962 年です。初代の社会学の担当者は、政治社会学者の間場寿一先生でした。その後、1977 年に社会学講座が正式に認められ、教員数も徐々に増えていきました。現在では松浦雄介会員、中川輝彦会員、多田光宏会員、矢原隆行会員、吉武由彩会員、さらに私を含め、6 名の会員が文学部・法学部の社会学教育を担当しています。また、教育・研究活動の幅も広がり、臨床社会学、医療社会学、文化社会学、国際社会学、社会問題論、現代社会論、社会理論、地域社会学、福祉社会学、環境社会学など、多彩な教育・研究活動が行われています。

今回の学会大会では、Covid-19 の感染拡大の影響も和らぎ、皆様を会場にお迎えできそうです。お越しの際、もしお時間が許せば、ごらんになっていただきたいものがあります。それは、大学の正門である通称「赤門」から、会場となる文法学部棟に向かう道の両側に立ち並ぶ木立の景観です。この木立は、戦前昭和期における旧制高等学校の敷地建物の図面にも記載されているもので、その一角に夏目漱石の像もあります。

この緑豊かなキャンパスで開かれる学会大会について、スタッフ一同、そのスムーズな運営に力を尽くしてまいります。もちろん懇親会も準備させていただきますので、会員同士の交流を深めていただければと思います。皆様の来熊をお待ちしております。

iii．シンポジウムの概要（登壇者の所属は、2023 年 2 月現在のものです）

困難な状況におかれている子ども・若者への社会的支援－現状分析と社会学者のかかわり方

現在、さまざまな排除を受け、不安定な生活や不利な状況におかれている子ども・若者は少なくありません。本シンポジウムでは、①子ども・若者をとりまく社会的排除に抗する社会的支援について社会学的な現状分析を提示すること、②そうした社会的支援における社会学者の位置づけを考えることを目的としています。本来、論点は 1 つに絞った方がよいのですが、今回はあえて 2 つにしてみました。支援について研究する社会学者も支援のプロセスに組み込まれていると考えたからです。

社会的排除に抗する社会的支援においては、社会保障制度の拡充、国によるモノ・ヒト・カネの十分な分配が必要であることは言うまでもありません。同時に、人びとの生活が展開されている地域社会の状況に合わせた支援の仕組み、社会への信頼や共同・協働性の構築、当事者と支援者間の対話と自己決定も重要です。本シンポジウムでは、こうした社会的支援の両輪を意識しつつ、主に後者について議論したいと考えています。現時点での報告題目、報告者、報告概要は以下の通りです（50 音順）。

稲月正（北九州市立大学）「排除に抗する支援とその仕組みづくり－NPO 法人抱樸による子ども・若者支援を事例に」

NPO 法人抱樸は、北九州を中心にホームレス状態にある人や生活困窮者への社会的な支援を行っています。この NPO は、①排除され困難な状況におかれている個人への支援（個人への働きかけ）と②支援のための社会資源の創出と各種機関連携の仕組みづくり（社会への働きかけ）をセットで行うことを目指しています。本報告では、そうした実践のうち「子ども家族まるごと支援」と「生活支援付き住宅事業」に焦点をあて、①それらが必要とされる社会的背景、②その効果と課題について現状分析を提示したいと考えています。また、私はその NPO に参加しながら、調査を行ってきました。報告では、このような関わりの中で感じた自らの役割や葛藤についても考えてみたいと思います。

桑畑洋一郎（山口大学）「信仰に基盤を置いた支援―天理教里親を事例に」

本報告では、天理教を信仰しながら里親養育を実践している、いわゆる天理教里親に注目し、第 1 に天理教里親がどのような里親養育を実践しているのか、第 2 にそうした実践がどのように信仰と関連付けられているのか／いないのか、第 3 にそうした実践がどのような帰結を導きうるのか、の 3 点に注目しながら分析を進めていくこととします。その中から、里親養育の対象となる要保護児童――すなわち、生まれ育った家族からの／への排除を経験してきた子どもや若者――に対して天理教里親が提供する、家族的な共同性の可能性を探ることにしたいと考えています。またそうした、天理教里親への分析そのものに加えて、里子という排除対象を支援する天理教里親の研究において、社会学者としてどのような関与をしているのか／しうるのかといったことも、報告者自身の調査・分析をめぐる経験や葛藤を紹介しながら議論したいと考えています。

益田仁（中村学園大学）「学校からの排除と地域における包摂―子どもの居場所・ちゃちゃルームを事例として」

福岡市によりあいの森という特養があります。高齢者をたらい回しにしない。隔離しない。縛らない。薬漬けにしない。老いの時間とリズムに付き合う。そんな支援を行っている施設です。その敷地内に、不登校や発達特性をもつ子どもの居場所（ちゃちゃルーム）が地域住民の手によってつくられました。本報告では、その場を手掛かりとしながら、家族と地域の関係性を、学校の変化も押さえつつ論じてみたいと思います。具体的には、フィールドワークや関係者へのインタビューに基づいて、

その場がつくられた経緯を整理し、その機能・役割を示すことで、子育て・子育ちの地域での分有の現代的な一形態を示してみたいと思います。また副次的な視点として、社会学者（である報告者）とその場のかかわり――時々顔を出す先生、遊び相手、話し相手、連絡調整係――をもとに、研究者としての機能的側面と、ひとりの人間としての存在的側面の双方に目配せをしながら考えてみたいと思います。

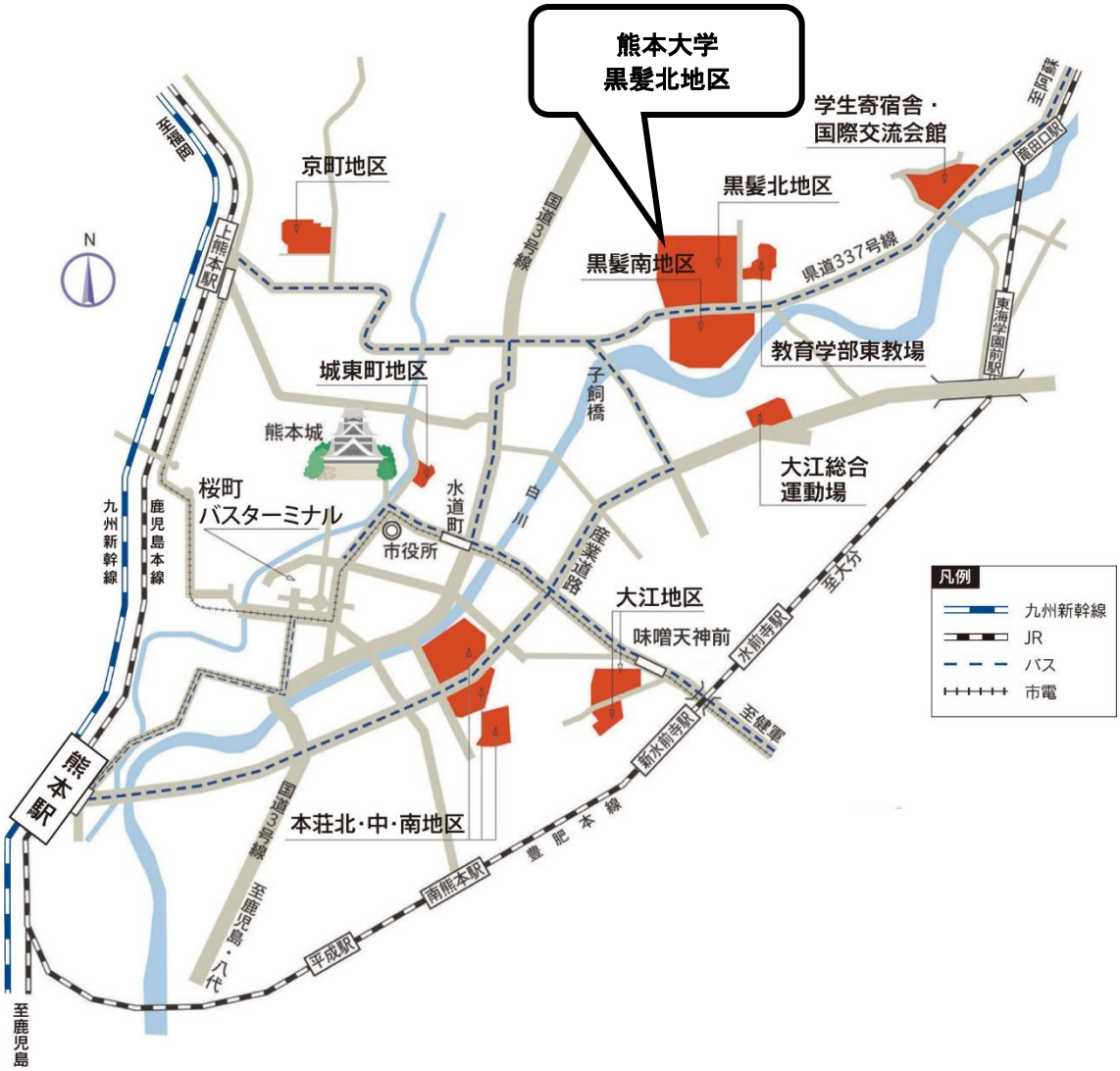
　コメンテーターは、以下の３名の方にお願いしています（50 音順）
足達咲希（自立援助ホームかんらん舎）
奥田知志（NPO 法人抱樸）
園井ゆり（広島大学）
　なお、司会・進行は、稲月が務めます。皆様、どうぞご参加ください。

（文責：稲月　正）

iv．交通・宿泊案内

大会開催校への交通案内（電車・バス等の利用情報を含む）
○熊本大学　黒髪北地区　（文学部、教育学部、法学部 等）

※熊本大学 黒髪北地区へのアクセスは、詳しくは以下の熊本大学ウェブサイトをご参照ください。
https://www.kumamoto-u.ac.jp/campusjouhou



●JR 熊本駅から
［バスをご利用の場合］約 26 分、310 円
（2 番のりば） 産交バス等：楠団地、光の森産交行き等（子飼経由）「熊本大学前」下車
［タクシーをご利用の場合］約 17 分

●阿蘇くまもと空港から
空港リムジンバスで桜町バスターミナルまで約 60 分、730 円
桜町バスターミナルからバスで「熊本大学前」まで約 17 分、230 円

宿泊先情報
●水道町・通町筋・花畑町・辛島町周辺

東横 INN 熊本城通町筋	熊本県熊本市中央区水道町 1-1	096-325-1045
ダイワロイネットホテル熊本	熊本県熊本市中央区花畑町 10-22	096-319-1050
熊本グリーンホテル	熊本県熊本市中央区花畑町 12-11	096-325-2222
エクストールイン 熊本銀座通	熊本県熊本市中央区下通 1-9-8	096-351-2111
熊本東急 REI ホテル	熊本県熊本市中央区新市街 7-25	096-322-0109

●熊本駅周辺

ホテル ザ ゲート熊本	熊本県熊本市西区春 1-14-1	096-288-0170
ザ・ニュー ホテル 熊本	熊本県熊本市西区春日 1-13-1	096-326-1111
ホテルルートイン熊本駅前	熊本県熊本市西区春日 1-14-9	050-5847-7557

この他にも、熊本市内には多数の宿泊施設がありますが、時期によっては混み合いますので、お早めに予約されることをお勧めいたします。

II．事務局からのお知らせ

＊ 2022 年度までの学会費が未納の方におかれましては、なにとぞ納入くださいますようお願い申し上げます。

＊ 西日本社会学会のホームページを、下記 URL にて運用しております。ご意見等ございましたら事務局までご一報下さい。

http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~sociowest/

〈編集後記〉
＊ 学会ニュース 169 号をお届けします。今回は第 81 回大会の案内号です。お忙しいなか、玉稿をお寄せいただいた先生方には深くお礼申し上げます。

＊ 次回ニュースの発行は、4 月中旬の予定です。住所・電話番号・所属機関などの変更がございましたら、事務局までご一報下さい。よろしくお願い申し上げます。

（事務局：髙嵜浩平）